



12月の多磨っ子



多磨っ子ロング集会



12月3日(火)の3校時に、多磨っ子グループのリーダーが中心となって会をすすめ、全校で「だるまさんがころんだ」を楽しみました。班対抗戦では、班の誰かが動いたと判断されたら、班の全員がスタートに戻るというルールのもと、みんながルールを守って楽しむことができました。個人戦では、我先にとゴールを目指す子、絶対に指摘されまいと、ピタリと動きを止める子等、大いに盛り上がり、全校で楽しむことができました。

五七五集会



12月11日(水)に全校で集まって五七五集会を行いました。集会に向けて、1年生～4年生は俳句を、5、6年生は短歌を作りました。テーマは「今を感じて」です。各クラスの代表児童がステージに上がり、自分が作った俳句や短歌を発表しました。

俳句や短歌を作ったのは11月だったためか、夏の終わりを詠む子もいれば、冬の訪れを詠む子もいました。季節は様々ですが、暑かったり寒かったりした11月の様子を上手に発表することができました。全校で季節の変化を味わうことができました。

レガシー影絵体験 5年



12月11日(水)、影絵師の川村亘平齋さんが四小に来てくださいました。5年生は、この日までに図工の授業で、自分が変身したい影の世界の精霊を考えて、黒の厚紙やカラーセロハンを使って制作しました。制作した影絵を頭にかぶり、影の世界の精霊に変身して自己紹介します。どんなことを言いたいのか台詞も考えました。当日は、クラスごとに体育館の大きなスクリーンの裏の影絵の世界に入り、変身した姿で1人1人自己紹介しました。川村さんが変身したサルのニシオカさんといういろいろお話しながら、影絵の世界を楽しみました。